

# 緑化

ここから始まる未来への提案

2019年  
5月27日(月)  
14:00-17:00  
(受付開始13:30-)

Bridge  
建材・設備・建築士をつなぐ総協会

連続講座vol.15

CPD 3単位

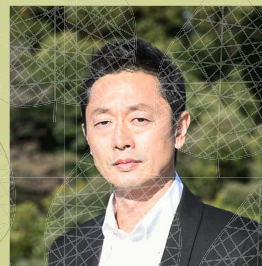
プレゼンテーション

## グローバルに支持される、ローカルな価値づくり

日本が世界の先進国に先駆けて縮退社会に移行する中、ものづくりの評価を空間づくりだけに留めず、社会の持続性に寄与できる仕組みづくりの議論につなげていくことが重要だと考えます。評価の基軸になるのは、私たちが創り出す建築やランドスケープが持続可能な社会基盤として貢献できているかという視点です。本講演では、いくつかの事例を紹介しながら、新たな社会基盤の在り方を皆さんと共に考えてみたいと思います。

平賀 達也

株式会社  
ランドスケープ・プラス  
代表取締役



1969年徳島県生まれ。高校卒業後に単身渡米。1993年ウェストヴァージニア州立大学卒業後、日建設計ランドスケープ設計室の勤務を経て、2008年ランドスケープ・プラス設立。都市の中で自然とのつながりを感じられる空間づくりや仕組みづくりを実践。主な作品に「としまエコミューゼタウン」、「南池袋公園」、「二子玉川ライズ」等がある。

プレゼンテーション

## 時代は「緑化」から「グリーンインフラ」へ ～緑地空間設計にプラスαの機能性を持たせるためのポイント～

国土交通省が「グリーンインフラ」を社会資本整備の方針として公式に位置づけたことで、「グリーンインフラ」の概念は徐々に浸透しつつあります。しかし、この概念をどうカタチにしていくか？ ということが、今現場で起こっている課題です。

グリーンインフラの実装を通じた手法や普段の緑地設計の際に押さえておくべきポイントについてご紹介いたします。

日置 大輔

東邦レオ株式会社  
グリーンテクノロジー事業  
事業副部長



2004年東邦レオ(株)入社。都市緑化分野において人工地盤緑化や壁面緑化、校庭芝生化などの営業・工事を経験し、豊かな緑の普及に従事。2018年よりグリーンテクノロジー事業副事業部長として、都市緑化技術をグリーンインフラ技術に置き換え、新たなまちづくりの手法として定着を図る。

## 会場 九段 kudan house

東京都千代田区九段北1-15-9

地下鉄 東京メトロ 九段下  
1番出口から徒歩5分  
(約400m)

※ セミナー終了後、施設内の見学の時間を設けます。



定員 50名(申込先着順)

会費 正・準会員・学生 1,000円 一般 2,000円

事前振込: 振込先はお申込み完了後にメールでご連絡致します  
「tokyokenchikushikai.or.jp」からのメールを受信できるようにお願い致します

申込 東京建築士会HP もしくは下記URL・QRコードより  
申込みフォームにアクセス頂き必要事項を入力の上お申込みください  
<https://goo.gl/forms/Slah1q2qwe4CrNQ93>



問合せ 一般社団法人 東京建築士会 事務局担当: 遠藤・笠木 TEL: 03-3527-3100

主催 一般社団法人 東京建築士会 / 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

企画 一般社団法人 東京建築士会青年委員会  
一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 技術・景観部会

【個人情報の取り扱い】本参加申込書に記載頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び東京建築士会が開催するほかのイベント案内・照会の為に利用する場合があります

## Bridgeとは

建築基準法の法改正・環境問題など、建築を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、住関連ビジネスにおいても、高度な情報・知識・技術を駆使できるプロが求められています。そして生活者(消費者)はより快適な環境の実現を求め、各産業への期待がますます大きくなっています。このような時代、材料設備を供給する企業産業と生活者に近く設計及びスペックする建築士との勉強会を開催することにより、横断的な情報交流・研究の「場」となり、自己研鑽だけでなく新たなモノが創造(アウトブット)される環境となることを目指しています。

## 九段 kudan house について (旧山口萬吉邸)

1927年に日本を代表する3人の建築家(内藤多仲氏・木子七郎氏・今井兼次氏)によって建てられたこの邸宅は、美しい曲線を施したスパニッシュデザインと鉄筋コンクリートの黎明期の代表作として日本の歴史に名を刻む建築物です。失われつつある日本の歴史、文化、景観といった文化遺産(レガシー)を活かすプロジェクトモデルとして、東京急行電鉄株式会社、株式会社竹中工務店、東邦レオの3社共同で改修され、現在は「kudan house」として国内外に新たな文化を発信する拠点となっています。

